



CONTENTS

ほんとの地球が見えてくる。 … 1	どんぐりの里親になりませんか? … 2	《連載童話 10》ともだち …… 4
出前どんぐり講座 …… 1	SNSトピックス …… 2	森のサブ・カル …… 4
《連載》森のエコラム …… 1	夏のプレンティア …… 3	森からの宅急便 …… 4
	第7回 里山フェスタ開催 …… 3	TOPICS★トピックス …… 4
		編集後記 イチ・オシ …… 4



ほんとの地球には、生き物たちの……
次代につなごうとする命が見えます。

里は今、秋です。

参加しませんか？



里山の名残の公園など
街で拾って

春まで
街で育てて

翌年春の活動で
水系の森に帰す。

(詳しくは2面を)



里子がいっぱい!

どんぐり拾いに先がけて『出前どんぐり講座』を実施!

北浜幼稚園の巻

? バッカ〜ンって音が
出てくるのかな?



尖った先から根が出て
その後には芽が出ます



学



紙芝居

《紙芝居を読んできた川島先生の感想》

今までどんぐりを拾って遊ぶだけだった子どもたちでしたが、その中にはお母さんからもらったおべんとうが入っているんだと知り、とても印象深かったようです。「木がどんぐりのお母さんなんだよね」と話してくれます。紙芝居もわかりやすく、楽しんで聞いてもらえました。

え〜!?
これって お弁当なんだって



毎年秋になると、近所の公園や森林公園にどんぐり拾いに行っているという北浜幼稚園。子どもたちもどんぐりが大好き!

今回はそんな北浜幼稚園を訪ね、もっとどんぐりを知ってもらい親しんでもらおうと、森の生態系におけるどんぐりのお話やどんぐりを使った遊び(コマ・笛・ペットボトルのどんぐり落とし)を披露。最後は、自然の中で生きるどんぐりの秘密を描いたオリジナル紙芝居『おかあさんにももらったおべんとう』を先生に読んでいただきました。これを機会に自然や環境への興味がより深まるといいですね。



どんぐり
笛

どんぐりをくり抜いて作った笛。
意外と大きな音にビックリ!

連載

森のエコラム

半世紀のマーケティングの視野に映った
甞れ!日本の原風景(4)
カルチャーが生み出す生産

第一、価値の多様化は、必ずしも一定の消費行動に誘引される事は無いでしょう。反面、生産と消費とのスパイラルから抜け出して、社会的な価値の生産につながる自己実現に向かう事になるには、およそ一世紀程の歳月を要したという過去の歴史もあります。しかし最近では、こうしたパラダイ

ムの転換を加速させるとされる生活者余剰時間の急速な増大があります。働き方改革などに促された一般生活者の可処分時間の増大。定年などで促される、工業化社会のパラダイムからのリタイア。これらの要因で生まれた可処分時間や余剰時間は、暮らしが成り立つという必要以上に再び再生産に向かう事はないでしょう。むしろ、生産と消費のスパイラルから抜け出し、新しい価値の創造や自己実現に向かうだろうと期待できます。彼らの志向は、工業化社会のパラダイ

ムである(労働を金銭に替えて、その金銭で暮らしや生き甲斐に必要なモノやサービスを手に入れる)という事ではなく、(生産行為そのものに自己実現という利益を求める)事を望んでいるのです。私は彼らを『カルチャー生産者』と呼んでいます。こうした人々による価値実現は、経済原則の波に押し流されて市場から消えて行った、かつてのホンモノの食材を戻すでしょう。カルチャー生産者だからこそ、買い替え需要に期待しない本来のモノづくり

とか、水を育てる事から始める原点の農業とか、生産効率の悪い純蜜養蜂だとか、里山の再生によって棲み分けで得る駆除獣ではない野獣肉のように、恐ろしく手間ひまの掛かる施業から始める事が出来るのです。私たちはそうして作られたカルチャー生産品を、里山産品としてその伝承製法を認証しているのです。4ページ参照 (つづく)



里山産品認証状

特集

街で育つどんぐりが日本のふるさとを支えます

どんぐりの里親になりませんか？

どんぐりの里親とは…かつての里山の名残として公園などにのこるコナラ、クヌギ、アベマキなどの落葉広葉樹の“どんぐり”を拾って、街で育てて森に帰そうという運動です。プレンティアの森が発足した1999年当時は、まだ森づくりへの市民の関心も少なかったことから、親しみを持って市民参加ができるキャンペーンとして企画されたものです。その後、協賛企業各社を中心に幼稚園、養護学校、中学校、高校、などの協力を載って開催されて20年の歴史があります。東日本大震災の際には、この「どんぐりの里親」をホームページで知った現地の大学の准教授の方から苗木の提供を依頼されたこともありましたが、残念ながら水系毎にDNAが異なることを伝え里子の協力はできませんでした。しかし、「どんぐりの里親」手帳は日本全国どこでも使えますので、好評をいただいで各地からの問い合わせにお応えしています。



発足当時。竹の筒の育苗ポット

1. どんぐりを知ろう！

どんなどんぐりを里子として育てればいいのか？

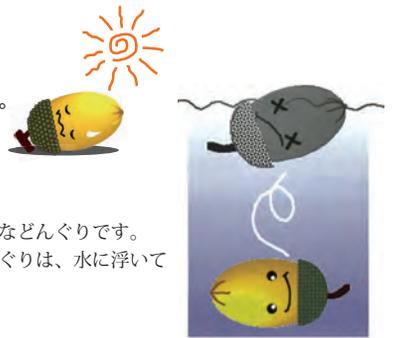
秋に葉を落とす落葉広葉樹が向いていて、私たちは「コナラ」や「クヌギ」を多く育てています。昔から里山に植えられていて、なじみ深いどんぐりです。植物は水系ごとにDNAが異なります。このあたりは天竜川水系で育ったどんぐりです。「マテバシイ」は平地しか暮らせないので、里子には向いていません。

<p>常緑樹のどんぐり 「マテバシイ」</p> <p>どんぐりらしい形をした仲間の中では、最も大きな実で食べられます。</p>	<p>「コナラ」</p> <p>里山を象徴する落葉広葉樹。中央の写真はこの木の葉っぱ。秋には黄ばんで落葉します。</p>	<p>「クヌギ」</p> <p>どんぐりの仲間でも大きく、コマ遊びに使われます。実は翌年の秋に実ります。</p>	<p>落葉樹のどんぐり 「カシワ」</p> <p>葉は大型で30センチにもなり、この木の日の柏餅は、この木の葉を使って包みます。</p>
--	---	---	---

どんぐりの性質は？

★乾燥に弱い

なるべく日陰にある、落ちてまもないものを拾うこと。拾ったら早く水に浸してあげてください。



元気な里子の見分け方は？

水に浮かべてみればわかります。すぐに沈むのが元気などんぐりです。虫に食べられたどんぐりや、芽の出にくい乾いたどんぐりは、水に浮いてしまいます。

はじめの一歩

どんぐりを一晩きれいな水につけて、水をたっぷり含ませたら、乾かないように濡った新聞紙に包んでおきます。4日ぐらいでどんぐりが割れて写真のような白い芽のようなものが出てきます。でもこれは芽でなくて根です。どんぐりは秋のうちに根を張って芽を出す春をじっと待っています。だから根を下向きに植えます。



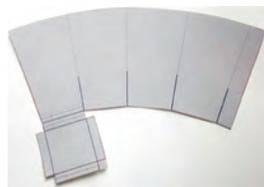
どんぐりの里親手帳をもらうと詳しいことが書いてあるよ！

2. どんぐりを育ててみよう！

里親ポットの作り方

きれいに切る

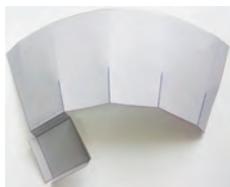
赤い線に沿って、ハサミやカッターで切り離します。



鉢底は四角で上縁は円形です。鉢底には高台ができます

しっかり折る

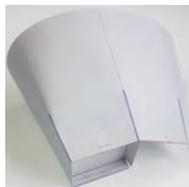
青い線に沿って、ボールペンの先などで折れ目をつけてから、折り曲げます。



ホチキスなどで仮止めすれば作業が楽です。接着部分をのり付けると強度が増します。

がっちり止める

両端を合わせて筒状にホチキスで止め、底穴①に②～④を差し込みます。



【里親ポットの歴史】

“どんぐりの里親キャンペーン”のスタート当初は参加者各自に園芸用のポットを用意していただいていたのですが、自然素材を利用したもので…という発想から、翌年竹の筒に底穴を開けたものを使用しました。その後土に戻る椰子の繊維のポットが開発され、新聞の古紙利用のポットなどさまざまな製品を使ってきましたが、市販製品はどれも草花用の育苗用に開発されたもので、木本類である里親用の育苗ポットとしては向きませんでした。そこで、昨年一年かけて200個に及ぶ試作を作って、紙質や形状をテストした結果生まれたのが、左側の写真のクラフトポットです。B4判サイズで、『ワンコインの絆』協力をいただいた方には2部さしあげます。(数量に限りあり)

里子のどんぐりの育て方

公園で拾う

濡れぞうきんにくるんでおくと、4～5日で根を出します。



たいせつに育てる

鉢に植えて水やりすれば、翌年の4月には芽を出します。



森の仲間に帰する

成長を楽しみながら育て5月の末に里帰りを託します。



里親ポットはそのまま森に帰せるように紙製です。水に濡れると柔らかくなりますが、乾けば堅さを取り戻します。濡れたポットの扱いはやさしく！

詳しくは里親手帳をごらんください。提供：浜松信用金庫



わたしたちは森を育てています。来年の春に水系の森へ里帰りです。キャンペーン協賛各社にお託しください。

どんぐりの里親キャンペーン協賛

リサイクルクリーン・アイジーコンサルティング・丸山コーポレーション・不二総合コンサルタント

里親手帳制作提供 浜松信用金庫・M.A.P.

もりぞから 森力の再生 森づくりC.S.R.トラスト 静岡県西部森づくりCSR協議会

ぼとちから 里力の復活 N.P.O. 小堀谷の里の会

SNS トピックス ～フェイスブックページ「プレンティア通信」より～



どんぐりの里親になる季節だ。もうすぐ実を落とすアベマキとクヌギ。どっちが何か分かるかなあ？



区別が付きません。教えて！

折りとって来た枝を束ねて写したものです。これらの3種類のどんぐりは、古くから里山の主要な木として愛されて来たどんぐりです。ほぼ中央にあるひとつのどんぐりがアベマキ、区別が付きにくいのですが、その下に写っているふたつがクヌギ、写真の下側の左右に写った明らかに違うどんぐりがコナラです。不思議な事に関東から北の地方はクヌギ、関西から西はコナラ、東海地方ではアベマキが里山の木として親しまれて来ました。ともに落葉広葉樹ですから、秋になると葉を落として地表の微生物や動植物に日の光を届けます。その優しさが豊かな里山の生態系を支えて来たのですね。人間の子供たちにも大人気です。

創知遊食

夏のプレンティア



アキュラホームの“植樹祭” 顧客と共に森を楽しむ

平成30年7月22日開催
アキュラホーム
CSR活動
37名参加(スタッフ6名)

毎年、顧客の皆さんを招待して植樹祭を催しているアキュラホームさん。この日は風がほとんどなく気温は28℃。都市部よりは4～5℃も低い！とはいえ、大事をとってエコダム作りは短時間で終え、その分、沢遊び、シダ飛行機、年輪パズルなどで森に親しんでいただきました。特にシダ飛行機は「簡単だけど奥が深い！」と子どもだけでなくお父さんお母さん、そしてスタッフもヒートアップ。皆さんが最も楽しみにしていた昼食のパエリアやグリルドチキンも期待以上の味にでき、森での一日を大いに楽しんでいただきました。



子どものシダ飛行機を見て、乗り出してきたお父さん。上手く飛ばせたかな？



「サワガニつかまえた！」みんなの目が輝く一瞬

森の気温 28℃



森の気温チェック用に大きな温度計を購入！



グリルドチキンは野菜がガキ旨！



無事にイベントを終え顧客の皆さんとの一体感溢れる笑顔



40人分のパエリアを調理する料理班



森を存分に楽しんだ後のランチは最高！

プレンティアとは
個人的な楽しみ (pleasure) を、社会的な価値の創造 (volunteer) につなげようという主旨の運動の創始者による造語です。工業化社会の出現とともに失われた自然と共生する暮らし方と、その喜びを蘇らせ、その個人的な楽しみを通して、高い炭素の吸収効果や、豊かな生物多様性の回復など、多様な社会的な価値の創造に結びつけようという呼びかけです。

森づくり CSR とは
地球の温暖化や生物多様性の崩壊など、ヒトの営みの自然生態系への影響はヒト社会全体が担うべき最大の責任です。ここに大気中の炭素の吸収は森林にしか出来ません。森づくり CSR とは、企業が森の再生を通してその責任を率先して果たそうというものです。プレンティア方式の施策は、楽しめるレクリエーションとして、福利厚生事業としても活用されています。



ひとこと

アキュラホームイベント参加 Mさん

アキュラホームさんのチラシを見て森づくりに興味を持ち、参加しました。水野代表の話聞いて、今まであまり考えたこともなかった生態系のこともわかって、とても勉強になりました。これからは子どもと共に自然や環境について考えたいです。



アキュラホームイベント参加 Nさん

昨年も申し込みましたが子どもが熱を出し参加できませんでした。今年は参加できてよかったです。シダ飛ばしは初めてでしたが上手く飛ばせて楽しかったです。お料理も美味しく、この子は普段は人参加が苦手なのですが完食しました。また来たいです。



AGグループ清風会 Sさんファミリー

普段はインドア派なので自然に触れる貴重な機会です。毎年参加していますが毎回何かしらの発見があります。子どもたちは川遊びがお気に入り、ヤマメ取りも食べるのも大好きです。今度はもっと森の奥で施策にもチャレンジしてみたいです。



AGグループ清風会の親睦を深める夏森と川と料理で自然を満喫

AGグループ清風会さんのイベントが、水窪町にあるプレンティアの森とその近くの河原で開催されました。恒例のヤマメのつかみ取りは、子どもたちが一番楽しみにしているイベントですが、今年は難易度が高く、大人も大奮闘してやっと捕まえました。捕まえたヤマメは『ここほれワンワン塾』の板橋さんが特製のコンロで塩焼きに。表面がカリカリに焼けたヤマメにかぶりつく子どもたちの姿には、自然の恵みを受けて共に生きようとする力強さを感じます。



人気のチェーンソー体験。「ボクもやっていい？」



平成30年8月26日開催
AGグループ清風会
CSR活動
20名参加(スタッフ5名)



第1号 Get!



板橋塾長特製の炭火コンロが大活躍



トチの葉を手に熱心に話を聞く親子



自然体験に満足。家族の年中行事として定着してきました

ほんとの地球が見えてくる。第7回 里山フェスタ小堀谷 2018

友達・家族で思いっきり森を楽しもう！

里は今、秋です。

ほんとの地球には、生き物たちの... 次代につなげようとする懸命な命があります。

Let's Foresteing!

2018 11月3日 土曜日

集合：市内のちからバスでの送迎あり。
開会：午前10時
会場：水窪町小堀谷
小堀谷プレンティアの森

プログラム

10:00 開会式：主催者代表挨拶・10:00

10:25 オリエンテーション：(活動指導) プレンティアの森

10:30 絆の地帯え

12:00 小堀谷産の芋煮会

12:30 絆のランチブレイク

森んピック大会

14:00 絆の植樹 14:30/

15:00 閉会式：実行委員長挨拶 (テーマ3編)・15:00

第1回 森んピック

プレンティアのリーダー資格への登壇門資格取得に必須の、I.S.M.の試験項目を体験します。

12:30~ 出てこい！ 森のアスリート!

空き缶を蓋に使用済みの割り箸でつく「エコ炊飯」シダで飛行機を作る、「シダ飛行機飛ばし」手ノコ「枝打ち競争」など、手軽に楽しめる競技もあります。

募集要項

参加資格：この運動に共感できる方(小学生以下の児童、生徒は父兄同伴)
参加料金：6,800円
参加登録が必要です。

参加申込：●主催団体加盟の各社は、各社担当部門までお申し込みください。●一般参加希望の方は、定員：20名
*定員に達し次第受付を締め切ります。
NPOプレンティアの森のホームページ <http://plenteer.com/> をご覧ください

主催：静岡県西部森づくりCSR協働推進協議会

地球の環境保全を目的としたC.S.R.事業として放炭林の再生に取り組んでいます。



株式会社リサイクルクリーン・株式会社アイジーコンサルティング・株式会社丸山コーポレーション・不二総合コンサルタント株式会社

活動指導：NPOプレンティアの森、森力の再生、里山の復活、N.P.O.小堀谷の里の森、共催：エフ・シー・シー株式会社エフ・シー・シー

